

総括シート

組織名	観光文化交流局	組織長職氏名	観光文化交流局長 松雄 俊憲
-----	---------	--------	----------------

■評価及び今後の方向性一覧

施策	34	国際的に開かれたまちづくりを進めます
組織目標	姉妹友好都市や各分野において提携する都市等をはじめ、諸外国との交流を推進するとともに、日本人市民と外国人市民の交流と相互理解を促進し、すべての市民が安心・安全に暮らすことのできる多文化共生のまちづくりを推進することなどを通じて、国際的に開かれたまちづくりを進める。	
関係部署	観光交流部	
組織目標の達成状況に対する評価		
姉妹友好都市交流事業や多文化共生施策、留学生交流促進事業、名古屋国際センターの運営・整備等は概ね予定通り実施することができた。 また、外国諸都市との交流推進においては、新たに台中市と観光分野において、タシケント市と観光・文化交流分野においてパートナー都市協定を締結したほか、多文化共生施策の推進においては、新規事業として地域日本語教育体制づくりのための実態調査、外国人日本語学習支援事業を実施した。 令和元年度は、組織目標の達成に向けて概ね順調に進捗したと評価できる。		
評価を踏まえた今後の方向性		
市民間の交流や相互理解を促進するため、姉妹友好都市との着実な交流や分野を特定した新しいパートナー都市連携など外国諸都市との交流事業を実施してきた。今後は、新型コロナウイルス感染症の世界的な影響を踏まえ、交流の手法についてもオンラインなど新しい手段を活用することで、交流を停滞させることなく国際的に開かれた都市を目指す。 また、市内の外国人住民数が8万5千人を超える中、新たな在留資格「特定技能」を新設する改正出入国管理法が平成31年4月1日から施行されるなど、更なる増加が見込まれるとともに、家族を伴ってより長期にわたって在住する外国人が増える等、外国人住民の多様化がさらに進むことが予想される。そのため、令和2年度から所管である国際交流課の体制強化を図ったが、今後は関係局とりわけ区役所と連携を図りつつ、状況の変化に対応しながら、多文化共生施策をより積極的に推進していくとともに、多言語による情報発信等により一層、取り組んでいく必要がある。		
施策	36	魅力的な都市景観の形成を進めます
組織目標	名古屋のまちをさらに美しく魅力あふれた快適な都市に育てていくため、景観重要建造物等への指定及び保存助成により、魅力的な都市景観の形成を進める。	
関係部署	文化歴史まちづくり部	
組織目標の達成状況に対する評価		
景観重要建造物を新規で1件指定、10件の都市景観重要建築物等を景観重要建造物に移行したほか、3件の景観重要建造物等に対し修繕工事費の助成を実施するなど、魅力的な都市景観の形成に努めた。		
評価を踏まえた今後の方向性		
引き続き、景観重要建造物等への指定を継続し、保存工事への助成を実施することで、良好な景観の形成に重要な建造物等について保存を図ることで、魅力的な都市景観の形成を進める。		

施策	37 歴史・文化芸術に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します
組織目標	名古屋城の整備や市内の歴史的建造物等の保存・活用を通じた名古屋独自の魅力づくりを進めるとともに、未来を担う若手の育成や文化施設の整備など、将来を見据えた文化への投資を行うことで文化芸術を活かしたまちづくりを推進し、市民による自発的な市内外への魅力発信を促進する。
関係部署	観光交流部、文化歴史まちづくり部、名古屋城総合事務所
組織目標の達成状況に対する評価	
各個別事業においては、台風による名古屋まつりの一部中止や新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が生じるなど、突発的な外的要因による一部実績の減少がみられたが、増加または維持の水準に達した事業が多く、当初の想定に近い成果を得られている。事業費については、名古屋城の整備にかかる支出済額が平成30年度の決算額より減少するなど、本施策における全体の事業費は減少した。以上の結果より、施策全体としては一定の効率性を示しつつ、概ね順調に進捗していると評価できる。 一方、組織目標を達成するうえでの成果指標については、市民アンケートの結果が前年度より低下しており、施策の進捗との乖離が認められる。アンケート結果は年度による変動が大きいと考えられるものの、各事業を通じて市民の本市に対する誇りや愛着を向上させることについては、課題も生じていると考えられる。また、新型コロナウイルス感染症の拡大は、市民の文化施設の利用や各事業への参画に大きな影響を与えている。	
評価を踏まえた今後の方向性	
当面は新型コロナウイルス感染症への対策が求められることから、新たな生活様式に対応するなど適切な対策を実施した施設の運営及び行催事の再開を目指していく。歴史に根ざした分野など計画が中長期に渡る事業や影響の比較的小さい事業においては、これまでの取り組みを着実に進めることにより、引き続き魅力資源の向上を図る。 適切な対策が講じられ、歴史や文化に積極的に親しむことができる環境が整った際には、これまで以上に本市の魅力を内外に発信できるよう効果的な方策について検討を進める。	
施策	38 観光の振興・MICEの推進と情報発信により交流を促進します
組織目標	武将ゆかりの歴史・文化や、なごやめし・ポップカルチャーをはじめとした名古屋が誇る魅力資源の磨き上げ及び発信に努め、観光客誘致に向けた取り組みを進めるとともに、ものづくり産業等の集積を生かしたMICE誘致とその基幹インフラとなる国際展示場・国際会議場の整備・運営を進めることにより、国内外の多様な交流を促進する。
関係部署	観光交流部
組織目標の達成状況に対する評価	
各個別事業の実績については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がみられるが、表面化した時期が令和2年2月以降であったことなどから、多くの事業で増加または維持の水準に達した。事業費については、国際展示場第1展示館の移転改築にかかる設計費用やテレビ塔照明設備更新に伴う費用の増加があり、施策全体にかかる支出は前年度と比較して微増したものの、令和元年度に実施予定であった事業は基本的に想定どおりに実施することができ、組織目標の達成に向けた取り組みは概ね順調に推移している。 なお、組織目標を達成するうえでの成果指標においては、いずれも暦年での数値であることから、新型コロナウイルス感染症の影響は反映されていないと考えられるが、本市のみならず国内外の観光やMICEを取り巻く環境は急激に悪化している。	
評価を踏まえた今後の方向性	
新型コロナウイルスの感染拡大により、観光及びMICE関連の動向については先を見通すことが困難な状況ではあるが、観光の振興やMICEの推進は交流人口の増加による都市の活性化や大きな経済波及効果が見込めることから、まずは疲弊した観光関連産業の立て直しを急務として事業を推進する。そのうえで、厳しい都市間競争に対応するため国内外への観光及びMICE誘致に関する情報の発信や受入環境の整備に努めるとともに、国際展示場・国際会議場の整備・拡充を確実に進めていく。今後の事業の実施にあたっては、感染症への対策に留意することに加え、時機を逸することなく回復期の需要を取り込むことができるよう国内外の情報収集を進め、効果が見込まれる事業へ柔軟かつ適切に行政資源を投入する。	

施策	39 スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます
組織目標	東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業への取り組みにより、新たなブランドとして確立しつつある「スポーツ」を活かして、まちの魅力と活力を高める。
関係部署	観光交流部
組織目標の達成状況に対する評価	
様々なイベントの機会を活かして、東京オリンピック・パラリンピックホストタウンPRポスターの掲示、PRチラシの配布、障害者スポーツの市民体験企画等を実施する事で、東京オリンピック・パラリンピックに向けた市民の機運醸成が図れている事に加え、事業趣旨に賛同、協力するホストタウン名古屋応援団の登録件数も増えてきている事から「スポーツ」を活かした、まちの魅力、活力を着実に高めることが出来ている。	
評価を踏まえた今後の方向性	
新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴う、東京オリンピック・パラリンピック開催延期により、予定していた国内のオリパラ関連イベントも軒並み中止、延期になっていることから、当面の間はイベント等でのPRは実施できないが、コロナ禍からの回復期に合わせ、イベント等の機会を活用した東京オリンピック・パラリンピックホストタウンPRや、ホストタウン登録国との交流事業を通じて、機運醸成を図り、ホストタウン名古屋応援団への勧誘を進めていく。	

■施策にかかる経費等執行状況一覧

施策		事業数	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 支出済額(千円)	増減(千円、%)	
34	国際的に開かれたまちづくりを進めます	7	458,717	465,997	7,280	1.6%
36	魅力的な都市景観の形成を進めます	1	0	8,000	8,000	—
37	歴史・文化芸術に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します	25	8,241,973	6,936,392	△ 1,305,581	△ 15.8%
38	観光の振興・MICEの推進と情報発信により交流を促進します	13	2,042,916	2,173,613	130,697	6.4%
39	スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます	1	15,876	19,994	4,118	25.9%
計		47	10,759,482	9,603,996	△ 1,155,486	△ 10.7%

■組織を取り巻く状況と今後の予測

令和元年度に新たに策定された名古屋市総合計画2023に掲げる都市像の実現に向け、各課室公所における事業を通じて関連施策の推進に取り組んできた。令和元年度においては、名古屋城天守閣木造復元事業にかかる工程の見直しや、あいちトリエンナーレ2019の運営への対処など次なるステップに向けて対応を行ってきたものもあるが、有松地区の日本遺産認定、台中市及びタシケント市とのパートナー都市協定の締結、G20外務大臣会合の成功など、これまでの観光文化交流局の取り組みが実を結んだ一年でもあった。引き続き、本市の魅力向上につながる事業に行政資源を投入することにより、世界に冠たる「NAGOYA」の実現に資する取り組みを推進する。施設整備の面においては現在進行している名古屋城天守閣木造復元事業及び国際展示場第1展示館移転改築事業のほか、市民会館及び国際会議場の大規模な整備事業も控えており、さらなる財政的・人的資源の投入が不可避となっている。

一方、令和2年以降に世界中に拡大した新型コロナウイルス感染症は、当局が所管する観光誘客、国際交流、MICE推進、文化振興といった広範囲の分野にかつて直面したことない多大な影響を与えており、立て直しが急務となっている。各分野のあらゆる事業に行政資源の投入が迫られることが予想されることから、これまで以上に投資効果を見極めつつ事業の効率化や見直しといった視点が重要となる。

■総括

令和元年度においては、各部各課・室において策定した行政計画に基づき、当局が今後重点的に取り組むべき事業を明確に定めてその推進を図ってきた。一方、施策目標を高いレベルで達成していくためには、これまで対応してきた部署が有する知見やノウハウだけでは不十分であり、他局や民間事業者等のもとに積極的に出向くなど、職員ひとりひとりが新しい価値やノウハウを求めて果敢にチャレンジしていく姿勢がとりわけコロナ禍においては重要である。当局が平成28年度に発足してから令和元年度までの取り組みや実施体制を踏まえ、これまで以上に戦略的に事業を推進できるよう、令和2年度の4月から部の再編を含む体制の変更を行ったが、今後はこれまで以上に部や課・室といった垣根にとられない姿勢のもと、グローバルな視点で局の経営を進めていく。

また、大規模な行政資源の投入が必要な施設の整備や運営にあつては、これまでの整備・運営手法の利点及び課題を踏まえつつ、他都市の事例や有識者等の意見も取り入れながら民間活力を活かした手法を積極的に導入するなど、中長期的により投資効果の高い手法を検討する。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている観光関連産業の立て直しが急務であるが、適切に対応するために正確な情報収集に努めるとともに国等の施策の動向を注視し、民間事業者及び業界団体などと協力して臨機応変に事業に取り組むことで、限られた行政資源でより一層の効果が得られるよう、取り組みを進めていく。

施策シート

施策	16 災害に強い都市基盤の整備を進めます
----	----------------------

個別事業にかかる実績及び事業費										
事業名 (所管課)	指標	総合 計画	公的 関与	平成30年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和元年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	年度	目 標	人員 (人)
	実績及び事業費の状況			増減		増減				概算総経費 (千円)
市有建築物の天井等落 下防止対策 (文化振興室)	天白・名東・北文化小劇 場 熱田文化小劇場 東文化小劇場 港・緑文化小劇場 金山南ビル	○	8	工事契約 設計 調査 — —	工事 工事契約 設計 設計 設計	190,222 (0)	282,797 (0)	1 2 3 3 3	実施	0.4
	—			—		48.7%				286,285
	(関連する成果指標) —		備考	平成30年度決算額には、当該年度に対策工事が完了した対象施設にかかる費用を含む。 地震発生時に施設利用者の安全を確保するため、名古屋市建築物耐震改修促進計画に基づき、対策が必要な市有建築物の天井等落下防止対策を実施。						

施策シート

施策	17 防災・減災対策を進めるとともに、地域防災力の向上を支援します
----	-----------------------------------

個別事業にかかる実績及び事業費										
事業名 (所管課)	指標	総合 計画	公的 関与	平成30年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和元年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	年度	目 標	人 員 (人)
	実績及び事業費の状況			増減		増減				概算総経費 (千円)
市有施設におけるブ ロック塀等の撤去等 (歴史まちづくり推進 室)	揚輝荘 旧豊田佐助邸 文化のみち榎木館	○	8	—	設計・工事 設計 調査・検討	—	24,307 (0)	2 2 3	実施	1.0
				—		—				33,027
	—	備考								
	(関連する成果指標) —	地震発生時に塀が倒壊し、倒れた塀の下敷きとなる被害の発生や、道路が塞がることによる避難・救助・消火活動の遅れの発生を防ぐため、建築基準不適合及び老朽化したブロック塀等の撤去等を実施。								

施策シート

評価及び今後の方向性

施策	34 国際的に開かれたまちづくりを進めます									
組織目標	姉妹友好都市や各分野において提携する都市等をはじめ、諸外国との交流を推進するとともに、日本人市民と外国人市民の交流と相互理解を促進し、すべての市民が安心・安全に暮らすことのできる多文化共生のまちづくりを推進することなどを通じて、国際的に開かれたまちづくりを進める。									
成果指標	項目					目標値		実績値		
						年度	値	平成30年度	令和元年度	
	① 地域で国籍の異なる人と交流がある市民の割合					5	40%	33.7%	31.1%	
	備考									
	② 外国人留学生数					5	9,700人	7,701人	12,420人	
備考										
事業の実績及び事業費の状況			事業費			その他	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)		令和元年度支出済額(千円) (うち一般財源)	
			増加	維持	減少					
	実績	増加	0	2	0	2	458,717	(393,106)	465,997	(393,963)
		維持	0	1	0	計	増減額(千円)		増減割合	
減少		0	0	2	7	7,280	(857)	1.6%		
組織目標の達成状況に対する評価										
姉妹友好都市交流事業や多文化共生施策、留学生交流促進事業、名古屋国際センターの運営・整備等は概ね予定通り実施することができた。また、外国諸都市との交流推進においては、新たに台中市と観光分野において、タシケント市と観光・文化交流分野においてパートナー都市協定を締結したほか、多文化共生施策の推進においては、新規事業として地域日本語教育体制づくりのための実態調査、外国人日本語学習支援事業を実施した。 令和元年度は、組織目標の達成に向けて概ね順調に進捗したと評価できる。										
評価を踏まえた今後の方向性										
市民間の交流や相互理解を促進するため、姉妹友好都市との着実な交流や分野を特定した新しいパートナー都市連携など外国諸都市との交流事業を実施してきた。今後は、新型コロナウイルス感染症の世界的な影響を踏まえ、交流の手法についてもオンラインなど新しい手段を活用することで、交流を停滞させることなく国際的に開かれた都市を目指す。 また、市内の外国人住民数が8万5千人を超える中、新たな在留資格「特定技能」を新設する改正出入国管理法が平成31年4月1日から施行されるなど、更なる増加が見込まれるとともに、家族を伴ってより長期にわたって在住する外国人が増える等、外国人住民の多様化がさらに進むことが予想される。そのため、令和2年度から所管である国際交流課の体制強化を図ったが、今後は関係局とりわけ区役所と連携を図りつつ、状況の変化に対応しながら、多文化共生施策をより積極的に推進していくとともに、多言語による情報発信等により一層、取り組んでいく必要がある。										

個別事業にかかる実績及び事業費										
事業名 (所管課)	指標	総合 計画 画	公的 関与	平成30年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和元年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	年度	目標	人員 (人)
	実績及び事業費の状況			増減		増減				概算総経費 (千円)
名古屋国際センターの 運営・整備 (国際交流課)	国際センターにおける 各種相談事業の満足度 外国人防災啓発事業の 実施件数	○	4	96.4% 9件	96.2% 9件	279,846 (279,846)	276,785 (276,785)	5 1	90%以上 9件	0.7
				△ 0.1%		△ 1.1%				282,889
	実績:維持、事業費:維持	備考								
(関連する成果指標)	地域の国際化および多文化共生のまちづくりを推進するため、名古屋国際センターにおいて情報提供、各種相談、講座・研修などを実施するとともに、NPOやボランティアなどの活動を支援。 災害時に外国人市民の安全を確保するため、日本の災害や防災についての情報を提供するとともに、災害語学ボランティア制度の管理運営やウェブサイト等を活用した多言語での情報提供を実施。									
①										
自治体国際化協会負担 金 (国際交流課)	海外活動支援及び海外 調査依頼実績	—	8	6件	11件	61,000 (0)	61,000 (0)	1	7件	0.2
				83.3%		0%				62,744
	実績:増加、事業費:維持	備考								
(関連する成果指標)	地域の国際化を推進する一般財団法人自治体国際化協会に対して負担金を支出。									
①										
名古屋市公館の運営・ 整備 (国際交流課)	会議室等利用日数	—	8	延べ397日	延べ542日	46,935 (46,478)	44,546 (43,841)	1	延べ397件	0.5
				36.5%		△ 5.1%				48,906
	実績:増加、事業費:維持	備考								
(関連する成果指標)	国内外からの賓客等を迎えたり、式典や重要な会議を開催する場としての施設の管理・運営、国際交流展示室での姉妹友好都市の紹介及び各都市からの記念品の展示。									
①										
外国諸都市との交流推 進 (国際交流課)	姉妹友好都市交流事業 の参加人数	○	8	355,347人	172,756人	49,764 (46,711)	43,256 (39,717)	1	355,347人	3.5
				△ 51.4%		△ 13.1%				73,776
	実績:減少、事業費:減少	備考		平成30年度は南京40周年関連行事(参加者数20万人)に参画した為、実績が急増。令和元年度事業費減はランス市姉妹都市連携記念事業の終了による。						
(関連する成果指標)	外国諸都市とのつながりを深め、市民の国際感覚の醸成をはかるため、幅広い交流を通じて両市民の相互理解と友好親善を促進する姉妹友好都市交流と、アジアを中心とした都市と分野を特定した交流を行うパートナー都市交流を推進。									
①										
留学生の支援 (国際交流課)	留学生交流促進事業の 参加者数	○	9	—	延べ162人	16,336 (15,235)	22,645 (20,311)	3	200人	0.3
				—		38.6%				25,261
	—	備考		令和元年度実施の留学生交流促進事業は、平成30年度に実施した留学生フレンドシップ事業の内容を拡充した後継事業。						
(関連する成果指標)	留学生が安心して勉強に専念することができるよう支援するため、国際留学生会館の運営を補助するとともに、留学生の誘致につなげるため、ニーズを把握した上で本市に関する生活情報や本市の魅力を体験する機会を提供し、学生同士の交流を促進。									
②										
日本語学習の支援【新 規】 (国際交流課)	NIC日本語の会の受講 者数(1期あたり)	○	3	—	215人	— (-)	13,914 (9,458)	1	203人	0.4
				—		—				17,402
	—	備考		令和元年度より地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業と外国人日本語学習支援事業を新たに開始。						
(関連する成果指標)	外国人市民が日常に必要な日本語を習得し、地域のコミュニティで円滑に生活できるよう、日本語学習機会の拡充を支援。									
①										

施策シート(観光文化交流局 施策34・3/3)

事業名 (所管課)	指標	総合 計画	公的 関与	平成30年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和元年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	年度	目標	人員 (人)
	実績及び事業費の状況			増減		増減				概算総経費 (千円)
地域社会に対する多文化共生の意識啓発 (国際交流課)	NIC地球市民教室における講師派遣件数	○	8	173件	155件	4,836 (4,836)	3,851 (3,851)	1	173件	1.3
				△ 10.4%		△ 20.4%				15,187
	実績:減少、事業費:減少	備考								
(関連する成果指標)										
①	多文化共生に対する理解を促進するため、地域住民等に対する啓発事業を実施。									

施策シート

評価及び今後の方向性

施策	36 魅力的な都市景観の形成を進めます									
組織目標	名古屋のまちをさらに美しく魅力あふれた快適な都市に育てていくため、景観重要建造物等への指定及び保存助成により、魅力的な都市景観の形成を進める。									
成果指標	項目					目標値		実績値		
						年度	値	平成30年度	令和元年度	
	① 名古屋の中で好きなまちの風景がある市民の割合					5	70%	65.3%	63.9%	
	備考									
事業の実績及び事業費の状況			事業費			その他	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)		令和元年度支出済額(千円) (うち一般財源)	
			増加	維持	減少					
	実績	増加	0	0	0	1	0 (0)		8,000	(8,000)
		維持	0	0	0	計	増減額(千円)		増減割合	
減少		0	0	0	1	8,000 (8,000)		—		
組織目標の達成状況に対する評価										
景観重要建造物を新規で1件指定、10件の都市景観重要建築物等を景観重要建造物に移行したほか、3件の景観重要建造物等に対し修繕工事費の助成を実施するなど、魅力的な都市景観の形成に努めた。										
評価を踏まえた今後の方向性										
引き続き、景観重要建造物等への指定を継続し、保存工事への助成を実施することで、良好な景観の形成に重要な建造物等について保存を図ることで、魅力的な都市景観の形成を進める。										

個別事業にかかる実績及び事業費										
事業名 (所管課)	指標	総合 計画	公的 関与	平成30年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和元年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	年度	目 標	人 員 (人)
	実績及び事業費の状況			増 減		増 減				概算総経費 (千円)
景観重要建造物、都市 景観重要建築物等の指 定及び助成 (歴史まちづくり推進 室)	景観重要建築物等指定 施設数	○	7	62件	63件	0 (0)	8,000 (8,000)	5	指定の継 続	0.5
				1.6%		—				12,360
	—	備考								
(関連する成果指標)										
①	歴史的または文化的な価値を有するものや、地域のランドマークあるいはシンボルとして良好な景観の形成に重要な建築物等について、景観重要建造物や都市景観重要建築物等として指定し、保存活用をはかるとともに助成事業を実施。									

施策シート

評価及び今後の方向性

施策	37 歴史・文化芸術に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します								
組織目標	名古屋城の整備や市内の歴史的建造物等の保存・活用を通じた名古屋独自の魅力づくりを進めるとともに、未来を担う若手の育成や文化施設の整備など、将来を見据えた文化への投資を行うことで文化芸術を活かしたまちづくりを推進し、市民による自発的な市内外への魅力発信を促進する。								
成果指標	項目					目標値		実績値	
						年度	値	平成30年度	令和元年度
	① 名古屋独自の魅力や文化で自信を持って紹介できるものがある市民の割合					5	78%	59.8%	43.4%
	備考								
	② 市の文化施設の利用率					5	90%以上	92.1%	83.3%
備考					新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実績値が低下。				
事業の実績及び事業費の状況			事業費			その他	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)	令和元年度支出済額(千円) (うち一般財源)	
			増加	維持	減少				
	実績	増加	0	1	0	9	8,241,973 (3,938,843)	6,936,392 (3,018,714)	
		維持	1	5	5	計	増減額(千円)	増減割合	
		減少	2	2	0	25	△ 1,305,581 (△920,129)	△ 15.8%	
組織目標の達成状況に対する評価									
各個別事業においては、台風による名古屋まつりの一部中止や新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が生じるなど、突発的な外的要因による一部実績の減少がみられたが、増加または維持の水準に達した事業が多く、当初の想定に近い成果を得られている。事業費については、名古屋城の整備にかかる支出済額が平成30年度の決算額より減少するなど、本施策における全体の事業費は減少した。以上の結果より、施策全体としては一定の効率性を示しつつ、概ね順調に進捗していると評価できる。 一方、組織目標を達成するうえでの成果指標については、市民アンケートの結果が前年度より低下しており、施策の進捗との乖離が認められる。アンケート結果は年度による変動が大きいと考えられるものの、各事業を通じて市民の本市に対する誇りや愛着を向上させることについては、課題も生じていると考えられる。また、新型コロナウイルス感染症の拡大は、市民の文化施設の利用や各事業への参画に大きな影響を与えている。									
評価を踏まえた今後の方向性									
当面は新型コロナウイルス感染症への対策が求められることから、新たな生活様式に対応するなど適切な対策を実施した施設の運営及び行催事の再開を目指していく。歴史に根ざした分野など計画が中長期に渡る事業や影響の比較的小さい事業においては、これまでの取り組みを着実に進めることにより、引き続き魅力資源の向上を図る。 適切な対策が講じられ、歴史や文化に積極的に親しむことができる環境が整った際には、これまで以上に本市の魅力を内外に発信できるよう効果的な方策について検討を進める。									

個別事業にかかる実績及び事業費											
事業名 (所管課)	指標	総合 計画 画	公的 関与	平成30年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和元年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	年度	目標	人員 (人)	
	実績及び事業費の状況			増減		増減				概算総経費 (千円)	
名古屋城の整備 (名古屋城総合事務所)	天守閣	○	1	実施設計 木材の製材	実施設計 木材の製材	3,993,555 (1,027,781)	2,259,413 (131,032)	5	整備推進	10.6	
	石垣			修復工事 発掘調査	修復工事 発掘調査			5	修復工事 発掘調査		
	二之丸庭園			保存整備 発掘調査	保存整備 発掘調査			5	保存整備 発掘調査		
	二之丸地区			基本調査	基本調査			5	基本構想 策定・推進		
	展示収蔵施設			建設工事	外構工事			2	供用開始		
	—			△ 43.4%							2,351,845
	—			備考							
(関連する成果指標) ①	名古屋城の本質的価値の理解を促進するため、戦災により焼失した天守閣を史実に忠実に木造復元するほか、石垣の保存整備、二之丸庭園の保存整備等を実施。										
文化施設の運営・整備 (文化振興室)	利用者満足度	○	8	99.5%	99.0%	1,827,110 (1,576,713)	1,977,076 (1,714,492)	5	90%	6.6	
				△ 0.5%		8.2%				2,034,628	
	実績:維持、事業費:維持	備考									
(関連する成果指標) ②	市民文化の振興をはかるため、公会堂、市民会館、文化小劇場等の文化施設を運営するとともに、市民会館をはじめとする文化施設の役割を整理した上で、市民会館の整備を実施。										
名古屋城の運営 (名古屋城総合事務所)	名古屋城来場者数	—	8	2,207,530 人	2,036,271 人	747,060 (136,878)	646,697 (82,388)	5	1,902,744 人	11.4	
				△ 7.8%		△ 13.4%				746,105	
	実績:維持、事業費:減少	備考									
(関連する成果指標) ①	特別史跡に指定され、本市有数の観光施設である名古屋城の管理・運営を実施。										
名古屋フィルハーモニー交響楽団の活動支援 (文化振興室)	演奏事業実施回数	○	8	106回	104回	461,026 (291,026)	463,659 (293,659)	5	110回	0.7	
				△ 2%		0.6%				469,763	
	実績:維持、事業費:維持	備考									
(関連する成果指標) ①	交響管弦楽による音楽芸術の普及向上をはかり、文化の発展に寄与するため、名古屋フィルハーモニー交響楽団による演奏活動を支援。										
市民御岳休暇村セントラル・ロッジ等復旧工事 (文化振興室)	出来高	—	1	100%	89%	11,427 (11,427)	292,228 (77,228)	1	100%	0.4	
				△ 11%		2457.3%				295,716	
	実績:減少、事業費:増加	備考									
(関連する成果指標) ①	平成29年6月25日に長野県南部で発生した地震により被災したセントラル・ロッジ等の復旧工事。										

施策シート(観光文化交流局 施策37・3/6)

事業名 (所管課)	指標	総合 計画	公 的 関 与	平成30年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和元年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	年度	目標	人員 (人)
	実績及び事業費の状況			増減		増減				概算総経費 (千円)
市民御岳休暇村の運営 (文化振興室)	事業の総参加人数	—	8	10,733人	13,461人	284,359 (280,335)	278,555 (27,820)	1	10,733人	0.4
				25.4%		△ 2%				282,043
	実績:増加、事業費:維持	備考								
(関連する成果指標) ①	御嶽山の麓、自然環境に恵まれ、市民生活を支える水源の木曽川上流域に開設した施設として、自然体験事業、青少年健全育成事業、健康増進支援事業を実施。									
名古屋市文化振興事業 団への助成 (文化振興室)	文化事業の高評価率	—	8	89.5%	92.2%	220,088 (180,921)	212,560 (174,650)	1	89.5%	0.6
				3%		△ 3.4%				217,792
	実績:維持、事業費:維持	備考								
(関連する成果指標) ①	(公財)名古屋市文化振興事業団の実施する市民文化の振興事業や、文化情報に関する資料の収集と整備など、文化芸術振興事業の推進をはかるための事業に対し助成。									
あいちトリエンナーレの 開催 (文化振興室)	あいちトリエンナーレ 2019の開催	○	8	開催準備	開催	30,882 (30,882)	137,222 (137,222)	1	開催	0.6
				—		344.3%				142,454
	—	備考								
(関連する成果指標) ①	愛知・名古屋から新たな文化芸術を発信し、地域の文化芸術の活性化と魅力向上をはかるため、現代美術の国際展「あいちトリエンナーレ」を3年ごとに開催。									
名古屋まつりの開催 (観光推進課)	来場者数	○	8	2,210,159 人	1,528,800 人	114,000 (114,000)	135,056 (135,056)	1	2,210,159 人	1.4
				△ 30.8%		18.5%				147,264
	実績:減少、事業費:増加	備考	第65回記念事業のため事業費増加。土曜日の雨天による行列中止のため実績減少。							
(関連する成果指標) ①	まつりを通じて、名古屋の伝統、文化、魅力にふれてもらうため、郷土英傑行列をはじめとした行列行事・会場行事を実施。									
名古屋城の魅力向上事 業 (名古屋城総合事務所)	名古屋城来場者数	○	8	2,207,530 人	2,036,271 人	174,012 (0)	133,275 (0)	5	1,902,744 人	3.0
				△ 7.8%		△ 23.4%				159,435
	実績:維持、事業費:減少	備考								
(関連する成果指標) ①	名古屋城の魅力向上や誘客をはかるため、夜間のイベント等の開催時の開園時間の延長や、民間事業者のノウハウを活用した多彩なイベントの開催などを実施。									
文化芸術活動の支援・ 活用 (文化振興室)	「やっとかめ文化祭」来 場者数	○	8	65,109人	65,603人	72,248 (18,287)	84,539 (27,646)	5	68,000人	1.7
				0.8%		17%				99,363
	実績:維持、事業費:増加	備考								
(関連する成果指標) ①	文化芸術がまちなかに広がることで、都市の魅力向上や地域活性化をはかるため、芸術家等の創造活動を支援・活用する事業を実施。									

施策シート(観光文化交流局 施策37・4/6)

事業名 (所管課)	指標	総合 計画	公的 関与	平成30年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和元年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	年度	目標	人員 (人)
	実績及び事業費の状況			増減		増減				概算総経費 (千円)
伝統的建造物群保存地区 保存事業の推進 (歴史まちづくり推進 室)	補助件数(累計)	○	8	5件	9件	14,769 (9,481)	54,132 (27,244)	5	25件	2.0
				—		266.5%				71,572
	—	備考								
(関連する成果指標)	歴史的な町並みの維持向上をはかるため、伝統的建造物群保存地区に指定している有松地区において、現状変更行為の許可や伝統的建造物の修理等に対する補助等を実施。									
①										
揚輝荘の保存・活用 (歴史まちづくり推進 室)	入館者数(南園)	○	8	20,010人	20,497人	70,690 (65,477)	51,996 (46,493)	5	21,000人	2.0
				2.4%		△ 26.4%				69,436
	実績:維持、事業費:減少	備考	新型コロナウイルス感染拡大対策により令和2年2月29日から令和2年5月31日まで臨時休館。							
(関連する成果指標)	城山・覚王山地区のまちづくりの交流拠点施設として活用するため、市民共有の歴史・文化遺産である揚輝荘の修復整備を実施。									
①										
文化のみちの推進 (歴史まちづくり推進 室)	文化のみちの関係施設 の入館者数	○	8	62,608人	54,071人	48,753 (48,479)	50,787 (50,505)	5	68,728人	2.0
				△ 13.6%		4.2%				68,227
	実績:減少、事業費:維持	備考	新型コロナウイルス感染拡大対策により令和2年2月29日から令和2年5月31日まで臨時休館。							
(関連する成果指標)	名古屋の近代化の歩みを伝える歴史的な遺産の宝庫である「文化のみち」の魅力を向上・情報発信するため、歴史的建造物の保存や歴史的建造物を活用したイベントなどを実施。									
①										
名古屋城の調査研究 (名古屋城総合事務所)	調査研究	○	8	実施	実施	0 (0)	43,156 (0)	5	実施	9.8
				—		—				128,612
	—	備考								
(関連する成果指標)	特別史跡名古屋城跡の価値を明らかにするとともに、適切な保存活用を行い次世代に継承していくため、調査研究センターを新設し、特別史跡名古屋城跡が有する文化財や資料等に関する学術的・総合的な調査研究を実施。									
①										
芸術文化事業の振興 (文化振興室)	「第九」コンサートの来 場者数	—	8	1,802人	1,681人	25,457 (2,500)	25,262 (2,500)	1	1,802人	0.8
				△ 6.7%		△ 0.8%				32,238
	実績:維持、事業費:維持	備考								
(関連する成果指標)	市民の「第九」コンサートなどの事業を共催し、市民文化の一層の振興を図る。									
①										
名古屋城を核とした魅力 向上の推進 (観光推進課)	市内観光地における年 間観光客数	○	8	4,729万人 (平成30年)	4,999万人 (令和元年)	18,996 (18,996)	19,364 (19,364)	2	4,900万人	1.5
				5.7%		1.9%				32,444
	実績:維持、事業費:維持	備考	令和元年度実績値は速報値。							
(関連する成果指標)	名古屋城を起点とした、有松・桶狭間までの「歴史・文化魅力軸」と、名古屋港地区までの「まちづくり・ものづくり魅力軸」という2つの魅力軸における回遊性の向上をはかるため、名古屋城と各エリアを結ぶマップの作成やイベントの実施、水上交通を推進する堀川・中川運河などの各エリアの積極的なプロモーションにより、魅力を創出・発信。									
①										

施策シート(観光文化交流局 施策37・5/6)

事業名 (所管課)	指標	総合 計画 画	公 的 関 与	平成30年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和元年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	年度	目標	人員 (人)
	実績及び事業費の状況			増減		増減				概算総経費 (千円)
シビックプライド醸成に 向けたプロモーションの 推進 (観光推進課)	観光入込客実人数(市 内)	○	8	1,971万人 (平成30年)	2,155万人 (令和元年)	36,253 (36,253)	17,535 (17,535)	2	2,000万人	1.0
				9.3%		△ 51.6%				26,255
	実績:維持、事業費:減少	備考		令和元年度実績値は速報値。						
(関連する成果指標) ①	低迷する市民推奨度を向上させるため、名古屋駅周辺や名古屋城・文化のみちなど本市の魅力資源が集積するエリアを題材とした、誇りや愛着につながる情報を市民に効果的に発信するプロモーションを実施。									
町並み保存事業の推進 (歴史まちづくり推進 室)	補助件数(累計)	○	8	407件	412件	11,841 (11,841)	13,308 (13,308)	5	442件	2.0
				—		12.4%				30,748
	—	備考								
(関連する成果指標) ①	市内に残る歴史的な町並みを保存するため、町並み保存地区において、指導・助言及び補助を実施。									
郷土ゆかりの文学資料 館の運営 (文化振興室)	来場者数	—	8	32,686人	28,252人	11,454 (11,454)	11,570 (11,570)	1	32,686人	0.6
				△ 13.6%		1%				16,802
	実績:減少、事業費:維持	備考		新型コロナウイルス感染拡大対策により令和2年2月29日から令和2年5月31日まで臨時休館。						
(関連する成果指標) ①	本市が進める「文化のみち」の拠点施設として、建築遺産の保存及び活用についての市民意識の高揚をはかるとともに、郷土ゆかりの文学資料を保管・展示。※観光文化交流局(文化振興室)では2階の一部(展示室)及び書庫棟を所管。									
金シャチ横丁構想の推 進 (名古屋城総合事務所)	構想の進捗状況	○	8	整備調査	整備調査	5,325 (5,325)	9,955 (9,955)	5	第二期整 備計画の 推進	1.2
				—		86.9%				20,419
	—	備考								
(関連する成果指標) ①	名古屋の近世武家文化のシンボルである名古屋城及びその周辺の魅力を一層向上させるとともに、国内外からの来訪者に対して名古屋の魅力を発信するため、金シャチ横丁構想を推進。									
歴史まちづくり事業の 推進 (歴史まちづくり推進 室)	歴史まちづくりに関する 啓発事業の実施	○	8	実施	実施	22,127 (22,127)	7,847 (7,847)	5	実施	0.8
				—		△ 64.5%				14,823
	—	備考								
(関連する成果指標) ①	日本遺産に認定された有松をはじめ「歴史・文化魅力軸」上に位置づけられている東海道や熱田などの歴史・文化の魅力を向上・発信するため、啓発事業や、拠点となる公開施設の整備を実施。									
歴史的建造物の保存活 用の推進 (歴史まちづくり推進 室)	登録・認定件数(累計)	○	8	264件	280件	8,736 (8,736)	6,589 (6,589)	5	300件	0.7
				—		△ 24.6%				12,693
	—	備考								
(関連する成果指標) ①	身近な歴史的建造物の保存活用を推進するため、身近な歴史的建造物の登録・認定制度の運用や、歴史的資産を活かしたまちづくりへの啓発活動、経済的支援及びなごや歴まちびとによる技術的支援を実施。									

施策シート(観光文化交流局 施策37・6/6)

事業名 (所管課)	指標	総合 計画	公的 関与	平成30年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和元年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	年度	目標	人員 (人)
	実績及び事業費の状況			増減		増減				概算総経費 (千円)
ユネスコ・デザイン都市 なごやの推進 (文化振興室)	加盟都市との交流事業 回数	○	8	9回 2回	8回 2回	8,299 (8,299)	3,986 (3,986)	1 1	8回 2回	1.0
	人材育成事業回数			△ 6.3%		△ 52%				12,706
	実績:維持、事業費:減少	備考								
(関連する成果指標) ①	「ユネスコ・デザイン都市なごや」としての魅力を一層向上させるとともに、国内外に向けて広く発信するため、創造都市ネットワークを活用した他都市との交流事業や、若手の人材育成等を実施。									
伊藤家住宅の保存・活用 (歴史まちづくり推進 室)	取得の進捗状況	○	8	調査	調査 調整	23,506 (21,625)	625 (625)	2	取得	1.0
	—			—		△ 97.3%				9,345
	—	備考								
(関連する成果指標) ①	四間道町並み保存地区の中心となる愛知県指定有形文化財の伊藤家住宅について、地域の共有財産として保存・活用を推進。									

施策シート

評価及び今後の方向性

施策	38 観光の振興・MICEの推進と情報発信により交流を促進します								
組織目標	武将ゆかりの歴史・文化や、なごやめし・ポップカルチャーをはじめとした名古屋が誇る魅力資源の磨き上げ及び発信に努め、観光客誘致に向けた取り組みを進めるとともに、ものづくり産業等の集積を生かしたMICE誘致とその基幹インフラとなる国際展示場・国際会議場の整備・運営を進めることにより、国内外の多様な交流を促進する。								
成果指標	項目					目標値		実績値	
						年度	値	平成30年度	令和元年度
	① 観光総消費額					5	6,000億円 (令和5年)	3,958億円 (平成30年)	4,453億円 (令和元年)
	備考	実績値の令和元年度の値は速報値。							
	② 国際会議の年間開催件数					5	248件 (令和4年)	183件 (平成29年)	202件 (平成30年)
備考									
事業の実績及び事業費の状況			事業費			その他	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)	令和元年度支出済額(千円) (うち一般財源)	
			増加	維持	減少				
	実績	増加	3	0	1	4	2,042,916 (1,198,436)	2,173,613 (1,097,893)	
		維持	2	0	2	計	増減額(千円)	増減割合	
減少		1	0	0	13	130,697 (△100,543)	6.4%		
組織目標の達成状況に対する評価									
各個別事業の実績については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がみられるが、表面化した時期が令和2年2月以降であったことなどから、多くの事業で増加または維持の水準に達した。事業費については、国際展示場第1展示館の移転改築にかかる設計費用やテレビ塔照明設備更新に伴う費用の増加があり、施策全体にかかる支出は前年度と比較して微増したものの、令和元年度に実施予定であった事業は基本的に想定どおりに実施することができ、組織目標の達成に向けた取り組みは概ね順調に推移している。 なお、組織目標を達成するうえでの成果指標においてはいずれも暦年での数値であることから、新型コロナウイルス感染症の影響は反映されていないと考えられるが、本市のみならず国内外の観光やMICEを取り巻く環境は急激に悪化している。									
評価を踏まえた今後の方向性									
新型コロナウイルスの感染拡大により、観光及びMICE関連の動向については先を見通すことが困難な状況ではあるが、観光の振興やMICEの推進は交流人口の増加による都市の活性化や大きな経済波及効果が見込めることから、まずは疲弊した観光関連産業の立て直しを急務として事業を推進する。そのうえで、厳しい都市間競争に対応するため国内外への観光及びMICE誘致に関する情報の発信や受入環境の整備に努めるとともに、国際展示場・国際会議場の整備・拡充を確実に進めていく。今後の事業の実施にあたっては、感染症への対策に留意することに加え、時機を逸することなく回復期の需要を取り込むことができるよう国内外の情報収集を進め、効果が見込まれる事業へ柔軟かつ適切に行政資源を投入する。									

個別事業にかかる実績及び事業費										
事業名 (所管課)	指標	総合 計画 画	公的 関与	平成30年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和元年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	年度	目標	人員 (人)
	実績及び事業費の状況			増減		増減				概算総経費 (千円)
国際展示場の運営・整備 (MICE推進室)	利用者数	○	6	1,742,942 人	1,401,411 人	757,109 (70,122)	975,890 (138,060)	5	2,399,000 人	5.0
				△ 19.6%		28.9%				1,019,490
	実績:減少、事業費:増加	備考	新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年2月及び3月に中止・延期となった行催事が相次いだため、利用者数が減少。							
(関連する成果指標) ②	MICE を推進するため、その基本インフラとなる国際展示場を管理・運営するとともに、拡大し多様化するMICE 活動に対応し、激化する都市間競争に打ち勝つために要求される水準に対応する拡充・機能強化を実施。									
国際会議場の運営・整備 (MICE推進室)	利用者数	○	6	1,013,521 人	921,889 人	506,314 (418,612)	266,779 (193,688)	4	1,089,000 人	2.5
				△ 9%		△ 47.3%				288,579
	実績:維持、事業費:減少	備考	新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年2月及び3月に中止・延期となった行催事が相次いだため、利用者数が減少。							
(関連する成果指標) ②	MICE を推進するため、その基本インフラとなる国際会議場を管理・運営するとともに、拡大し多様化するMICE 活動に対応し、激化する都市間競争に打ち勝つために要求される水準に対応する拡充・機能強化を実施。									
観光客の誘致宣伝活動 (観光推進課)	旅行商品造成プロモーションの実施件数	—	8	8都市	10都市	207,224 (205,161)	237,231 (235,897)	1	8都市	1.0
				25%		14.5%				245,951
	実績:増加、事業費:増加	備考								
(関連する成果指標) ①	名古屋の特色や魅力を活かした観光キャンペーンやPRイベントなどの観光プロモーションを推進するとともに、観光客の多様な情報ニーズに対応するホームページの運営、観光客向けパンフレットの作製及び修学旅行誘致事業などを実施。また、海外の旅行会社、マスコミによる取材旅行の受入を実施し、名古屋の魅力の紹介や知名度向上を図るとともに、多言語パンフレットの作成などを実施。									
観光プロモーションの推進 (観光推進課)	県市プロモーションの実施回数	○	8	3回	3回	36,103 (36,103)	194,843 (97,843)	1	3回	1.2
				0%		439.7%				205,307
	実績:維持、事業費:増加	備考	令和元年度支出済額にはテレビ塔の照明設備の更新等を含む。							
(関連する成果指標) ①	観光都市としてのイメージ向上、名古屋ならではの観光資源のブランド化を推進するため、全国的に認知度が高いなごやめしをはじめとする名古屋の魅力を活かした PR を検討・実施。									
歴史観光の推進 (観光推進課)	武将隊の名古屋城における観光客へのおもてなし日数	○	8	361日	334日	216,231 (216,231)	190,599 (190,599)	1	361日	1.7
				△ 7.5%		△ 11.9%				205,423
	実績:維持、事業費:減少	備考	令和元年度の実績において新型コロナウイルス感染拡大により、28日間の業務内容変更(当初予定362日)。							
(関連する成果指標) ①	名古屋の歴史的な魅力の掘り起こしや情報発信に継続的に取り組み、観光客の誘致及び都市ブランドの醸成をはかるため、信長、秀吉、家康などの武将を観光資源として磨き上げ発信するとともに、日本遺産に認定された有松や、桶狭間、大高地区の観光魅力向上や「名古屋おもてなし武将隊」を活用した観光PR等を実施。									
MICEの誘致推進 (MICE推進室)	MICE開催助成件数	○	8	5件	9件	88,195 (83,195)	105,854 (100,854)	5	22件	3.8
				80%		20%				138,990
	実績:増加、事業費:増加	備考								
(関連する成果指標) ②	国内外の交流を促進し、経済の活性化をはじめ、都市の知名度やイメージの向上をはかるため、ものづくり産業の集積をはじめとする当地域の特色を活かし、全国的・国際的なコンベンション等 MICE の誘致、プロモーション、開催支援の充実、情報収集などを実施。									

施策シート(観光文化交流局 施策38・3/4)

事業名 (所管課)	指標	総合 計画	公的 関与	平成30年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和元年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	年度	目標	人員 (人)
	実績及び事業費の状況			増減		増減				概算総経費 (千円)
観光案内の充実 (観光推進課)	新たな観光案内板の整備(累計)	○	8	—	0基	90,123 (90,123)	90,717 (90,717)	5	150基	0.8
	—			—		0.7%				97,693
(関連する成果指標) ①	観光客へのおもてなしを充実させるため、名古屋地域の玄関口である名古屋駅等において観光案内所を運営・強化するほか、民間事業者と連携し、まちなかでの観光情報の提供につとめるとともに、名古屋駅など主要地点において多言語表記の観光案内板を設置。									
なごや観光ルートバスの運行 (観光推進課)	利用人数	○	8	392,416人	372,719人	67,104 (4,376)	77,547 (16,082)	1	392,416人	0.8
	—			△ 5%		15.6%				84,523
(関連する成果指標) ①	実績:維持、事業費:増加		備考							
市内の公共交通機関に詳しくない観光客に対し、市内観光の利便性向上をはかるため、目的の観光施設まで乗り換えることなく行くことができる交通手段として運行。										
海外からの観光客誘致の推進 (観光推進課)	外国人延べ宿泊者数	○	8	200万人 (平成30年)	225万人 (令和元年)	45,217 (45,217)	20,105 (20,105)	5	370万人	2.0
	—			12.5%		△ 55.5%				37,545
(関連する成果指標) ①	実績:増加、事業費:減少		備考	令和元年度実績値は速報値。						
海外からの観光客の誘致を促進するため、名古屋の観光魅力を活かしたプロモーション事業を実施するとともに、他自治体等と連携した広域観光を推進。										
コスプレホストタウン等の推進 (観光推進課)	市有施設等におけるコスプレ撮影開放の実施	○	8	11施設	22施設	5,962 (5,962)	6,683 (6,683)	5	25施設	0.8
	—			100%		12.1%				13,659
(関連する成果指標) ①	実績:増加、事業費:増加		備考							
コスプレホストタウン宣言に基づき誰もがコスプレを楽しめるまちをめざすため、コスプレホストタウン PR 隊による市民への啓発、受入機運醸成をはかるとともに、コスプレ・アニメの情報の集約・提供などを行うコスプレコンシェルジュを運営。										
高級ホテルの立地促進【新規】 (観光推進課)	実施状況	○	8	—	制度検討	— (-)	2,567 (2,567)	1	制度検討	0.5
	—			—		—				6,927
(関連する成果指標) ①	—		備考	令和元年度より開始。						
大規模な国際会議等のMICE及び富裕層旅行者の誘致につなげるため、質の高い宿泊施設の立地促進施策を実施。										
ナイトタイムエコノミーの推進【新規】 (観光推進課)	観光入込客の市内における宿泊の割合(1泊)	○	8	58.9% (平成30年)	55.1% (令和元年)	— (-)	2,562 (2,562)	5	60%	0.3
	—			△ 6.5%		—				5,178
(関連する成果指標) ①	—		備考	令和元年度より開始。令和元年度実績値は速報値。 実績値は「名古屋市観光客・宿泊客動向調査」より引用						
観光客の滞在時間の拡大や消費拡大をはかるため、夜の観光コンテンツを充実させるなどナイトタイムエコノミーを推進。										

施策シート(観光文化交流局 施策38・4/4)

事業名 (所管課)	指標	総合 計画	公的 関与	平成30年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和元年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	年度	目標	人員 (人)
	実績及び事業費の状況			増減		増減				概算総経費 (千円)
トイレの洋式化及び機能向上 (観光推進課)	対象トイレの洋式化率	○	8	60%	67%	23,334 (23,334)	2,236 (2,236)	5	95%	0.3
				—		△ 90.4%				4,852
	—	備考	実績は他局所管分を含む。 令和元年度は、予定していた改修が実施されなかったため、事業費が減少。							
(関連する成果指標) ①	観光客をはじめ誰もが快適に利用できるトイレを整備するため、観光施設、地下鉄駅等のトイレを洋式化及び機能向上させるための改修を実施。									

施策シート

評価及び今後の方向性

施策	39スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます									
組織目標	東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業への取り組みにより、新たなブランドとして確立しつつある「スポーツ」を活かして、まちの魅力と活力を高める。									
成果指標	項目						目標値		実績値	
							年度	値	平成30年度	令和元年度
	① ホストタウン名古屋応援団の登録件数						3	20件	0件	15件
	備考									
事業の実績及び事業費の状況			事業費			その他	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)		令和元年度支出済額(千円) (うち一般財源)	
			増加	維持	減少					
	実績	増加	1	0	0	0	15,876	(15,876)	19,994	(19,994)
		維持	0	0	0	計	増減額(千円)		増減割合	
	減少	0	0	0	1	4,118	(4,118)	25.9%		
組織目標の達成状況に対する評価										
様々なイベントの機会を活かして、東京オリンピック・パラリンピックホストタウンPRポスターの掲示、PRチラシの配布、障害者スポーツの市民体験企画等を実施する事で、東京オリンピック・パラリンピックに向けた市民の機運醸成が図れている事に加え、事業趣旨に賛同、協力するホストタウン名古屋応援団の登録件数も増えてきている事から「スポーツ」を活かした、まちの魅力、活力を着実に高めることが出来ている。										
評価を踏まえた今後の方向性										
新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴う、東京オリンピック・パラリンピック開催延期により、予定していた国内のオリパラ関連イベントも軒並み中止、延期になっていることから、当面の間はイベント等でのPRは実施できないが、コロナ禍からの回復期に合わせ、イベント等の機会を活用した東京オリンピック・パラリンピックホストタウンPRや、ホストタウン登録国との交流事業を通じて、機運醸成を図り、ホストタウン名古屋応援団への勧誘を進めていく。										

個別事業にかかる実績及び事業費

事業名 (所管課)	指標	総合 計画	公的 関与	平成30年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和元年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	年度	目標	人員 (人)
	実績及び事業費の状況			増減		増減				概算総経費 (千円)
東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業 (観光推進課)	PR事業実施回数	○	8	7回	16回	15,876 (15,876)	19,994 (19,994)	3	5回	1.0
				129%		25.9%				28,714
(関連する成果指標)	実績:増加、事業費:増加	備考								
	① スポーツを活かした名古屋の魅力を生み出し発信するため、東京 2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして、相手国であるカナダ、フランス、ウズベキスタンとの交流事業を産学官民が連携し実施。									

施策シート

施策	45公共施設の適切な維持管理、保有資産の有効活用を進めます
----	-------------------------------

個別事業にかかる実績及び事業費											
事業名 (所管課)	指標	総合 計画	公的 関与	平成30年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和元年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	年度	目標	人員 (人)	
	実績及び事業費の状況			増減		増減				概算総経費 (千円)	
緊急保全の実施 (国際交流課、文化振 興室)	出来高	—	8	100%	100%	504,889 (470,888)	432,340 (153,340)	1	100%	0.3	
				0%		△ 14.4%				434,956	
	実績:維持、事業費:減少	備考									
	(関連する成果指標) —	老朽化した施設において、運営に重大な支障をきたすことがないようにするため、利用者の安全性や快適性に配慮した施設の修繕や設備の更新を実施。									